

データを読み解く力をつける ～数字を追うな、統計を読め～

ICT(情報通信技術)の進展に伴って、コンビニのPOSデータ、ICカードによる移動記録、ウェブの検索記録など膨大なデータが生み出され、その分析により社会・経済が大きく変わろうとしています。これらのビックデータの意味、そして「豚まん」のヒミツなど知っておくとおもしろく、役立つ統計の読み方について、作り手の立場からの貴重なお話をうかがいます。見えないものが見える、その秘訣がわかります！

講師：**佐藤 朋彦** 氏 (総務省統計局 統計調査部消費統計課調査官)

日時：2014年11月3日(月・祝)

13時20分～14時50分(受付開始 12時50分)

会場：桃山学院大学ハイビジョンシアター(2-301教室)

<入場無料・事前申し込み不要>

講師略歴 1959年生まれ。新潟大学理学部卒業。先生の助言をきっかけに統計学に興味を持つ。総理府、経済企画庁経済研究所、福岡県企画振興部、東京大学社会科学研究所、神戸大学経済経営研究所、総務省統計研修所などを経て現職。これまで「労働力調査」「家計調査」「全国消費実態調査」などの企画・立案、実施、集計、公表に携わる。
主な著書に『西の牛肉、東の豚肉』(日本評論社)、『数字を追うな、統計を読め』(日本経済新聞出版社)等。

主催：桃山学院大学社会学部

協力：社会学部学生リーダー育成プロジェクト

お問い合わせ先：桃山学院大学 学長室企画広報室

TEL. 0725-54-3131(代表)



桃山学院大学